



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題 「私たちの未来は、今日から始まる」 “Our Future Begins Today”
 アジア地域会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」 “Respect Y's Movement”
 西日本区理事主題 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！」
 “Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit !”
 中部部長主題 「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう」
 金沢犀川クラブ会長主題 「平和を実現しよう！」 “Let's be the peacemakers!”

会長：平口哲夫、副会長・書記：北 肇夫、直前会長・会計：澤瀬 諭

今月の聖句：(前略) 神は、キリストを通してわたしたちをご自分と和解させ、また、和解のために奉仕する任務を私たちにお授けになりました。つまり、神はキリストによって世をご自分と和解させ、人々の罪の責任を問うことなく、和解の言葉をわたしたちにゆだねられたのです。(中略) 罪と何の関わりもない方を、神はわたしたちのために罪となさいました。わたしたちはその方によって神の義を得ることができたのです。 コリント人への手紙 二 5章 18-21 節

2017年1月強調月間

IBC DBC

新しいワイズの世界を求めてIBC/DBCのお見合いをしましょう！ 積極的なアプローチから広がる世界の仲間との親睦の輪、和、話！ 森田美都子国際・交流事業主任（京都パレスクラブ）

☆☆☆1月第一例会案内☆☆☆

日時：1月26日(木) 19:00~21:00
 会場：金沢都ホテル
 会費：3,500円 準備：澤瀬ワイズ
 プログラム
 司会：北ワイズ
 開会・点鐘：平口会長
 ワイズソング：一同
 今月の聖句：司会者
 ゲスト紹介：司会者
 今月のハッピーバースデー：平口会長
 該当者なし

食前の感謝：三谷ワイズ

—— 会 食 ——

卓話：「禁煙運動について」
 福田太睦氏(NPO 禁煙社)石川 理事・事務局長)

事業委員会報告：各委員
 ニコニコタイム：澤瀬ワイズ
 閉会点鐘：平口会長

☆☆☆12月例会報告☆☆☆

[第一例会] 金沢・金沢犀川クラブ 合同クリスマス特別例会、12月15日(木)18:30~21:00、金沢ニューグランドホテル、参加者：北・平口。

[第二例会]12月22日(木)19:00~21:00、平口宅、参加者：北・澤瀬・平口。

第2回東西日本区交流会：2月4~5日、東山荘にて、平口参加予定。2月新春特別例会：2月11日(土)~2月12日(日)、“一軒宿の赤穂谷温泉”(小松市)。

今月の聖句について 手紙の著者は、コリントの教会の人たちに対して、イエス・キリストの十字架による罪の贖いを思い起こして「神と和解させていただきなさい」(20節後半)と説く。この聖句は、世の人々の間に平和を実現するうえでも示唆するところが大きい。(平口)

2月の当番 司会：澤瀬、準備：竹中

《金沢YMCAのホームページ》

<http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/>

*例会に使用済み切手、アルミ缶、ウェア用布製品をご持参下さい。

当クラブ	12月出席者	12月出席率(正会員)	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 4名	正会員 2名	3÷4×100	前月繰越切手 3,496g	前月累計 71,003円
広義会員 0名	功労会員 0名		12月分切手 0g	12月 0円
功労会員 1名	メネット 0名	メーカーキャップ 1名	今年度累計 3,496g	*合同クリスマス特別例会の献金は、日本YMCA同盟の
	ビジター 0名		切手 g	東山荘改築募金に当てる。
	ゲスト 0名		現金 0円	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 金沢 YMCA わいわい農園体験記 ◆ ～この1年を振り返って～

北 肇夫

「金沢 YMCA わいわい農園体験」は、2016 年 12 月 3 日(土)に参加者 6 名、でサトイモなどの収穫が行われ、今シーズンの終盤を迎えた。この機に一年を振り返って農園作業の内容を報告する。

今シーズンの特記事項としては、ケガ人もなく、熱中症などの病人が出なかったことと、獣害対策として簡易フェンスが敷設されたことがある。学院では全農園区画にフェンスを巡らし、それに伴い、当「わいわい農園」にも応分の負担金が請求され、年会費から支出された。

今シーズンに作付けした作物は、野菜・根菜では越前大野のサトイモ、源助大根、九条ネギ、二塚カブナ、エダマメ、草花ではアフリカンマーゴールド(万寿菊)、ジニア(百日草)、ハーブ(香草)ではバジルが挙げられる。

なお、年間作業の延べ人数 46 名、1 回当たりの実働時間 2～3 時間、実働日数 38 日であった。年間実働作業の割合は、①耕耘・畝建て作業 16%、②播種・植付け・間引き作業 24%、③除草作業 16%、④灌水作業 11%、⑤土寄せ作業 11%、⑥収穫作業 8%、⑦準備作業(タネイモの芽出し)・施肥・敷き藁・点検作業など 14%であった。

今後、農園体験が学童や教諭、大学生との交流の場に発展してゆけばと願っている。



(12月3日、収穫したサトイモなどを分けているところ)

◆ 12月合同クリスマス特別例会に参加して ◆

平口 哲夫

12月15日(木)18:30～20:30、金沢ニューグランドホテルにて金沢・金沢犀川クラブ合同クリスマス特別例会が開催され、金沢犀川クラブからは北ワイズと平口が参加。

会場で配布する金沢犀川クラブ・ブリテン12月号については、中部HPからダウンロードした金沢クラブ・12月号ブリテンを参考にプログラム箇所を更新してから印刷したが、プリンターの調子が悪く、当日の午前から午後にかけて、だいぶ時間を費やした。18:00 過ぎに会場に到着。自クラブのパーナーは持参したけれど、カメラを持っていくのを忘れてしまったので、写真撮影はすべて数澤ワイズにおまかせすることに。

司会の藤井ワイズは、金沢クラブのブリテン12月号掲載の随筆「YMCA は出会いの場」で、「私は YMCA と出会い、聖書と出会い、キリスト教信仰に導かれました」と記し、例会の最後のほうで日本 YMCA 基本原則の

うた「愛すること、仕えること」のギター演奏もこなして、場の雰囲気をついそう盛り上げておられた。今回、ホランテアリーダーの山岸祐太君(北陸学院大学 3 年生)と村上優也君(同大 1 年生)が参加してくださったことも特筆に値する。また、説教を担当してくださった矢澤励太氏(北陸学院中・高教諭)のご家族の参加もあり、二人の幼いお子さんの微笑ましい姿が印象的であった。山内ワイズ・メット会による「親睦のとき」のお手並みには、いつもながら感心した。



「合同クリスマス」と銘打ってはいるけれど、この何年間、クリスマス特別例会は金沢クラブに“オンパレード”の状態が続いている。名実ともに「合同」にふさわしい在り方が難しいのならば、金沢犀川クラブ主催のクリスマス特別例会は、かつてのように、通常の第一例会と同様、12月第二木曜に開催し、金沢クラブ主催のクリスマス特別例会には自由にビジター参加するというのも、今後検討してみるとよいのではないだろうか。

◆ 第38回ユニセフ街頭募金に参加して ◆

澤瀬 論

12月23日(金・祝)午後1時から約1時間、金沢市青少年団体連絡協議会主催の「第38回ユニセフハンド・イン・ハンド募金」に参加した。時々小雨交じりの中、朝倉金沢 YMCA 理事長をはじめ金沢ワイズメンズクラブ4名、金沢犀川ワイズメンズクラブ3名の計8名で、例年のごとく野町商店街入口付近にて募金を呼び掛けた。往時と違って人通りの少ない、若者の街での募金で



あったが、総額 14,569 円のご厚志が集まった。ご協力いただいた方々に心から感謝申し上げます。



“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”